

《第1回》 特別支援教育の現状と課題

- (1) 開催日時 令和元年7月26日(金) 9:00~11:45
- (2) 開催場所 さいたま市立教育研究所
- (3) 講師 埼玉大学教育学部附属特別支援教育臨床センター 専門相談員 高田 豊 先生
- (4) 内容 特別支援教育の課題や現状について、発達障害に関する基本的な知識を身に付ける。

〈講義〉(90分)

- 1. 動向・文科省データから不登校を考える
- 2. 子どもたちや家庭の困り感を考える
- 3. 本日のテーマについて
- 4. 行動改善のための2提案(睡眠とトークン)
- 5. UDチャレンジと授業への一提案

〈演習〉グループ協議・発表・質疑応答(65分)

- (5) 参加者 中堅教諭等資質向上研修受講者(小・特) 109名
- (6) 参加者の主な感想

○一人ひとりの資質について見方を考えるきっかけとなり、新しい考えを皆で共有できました。

特別な配慮が必要な児童についてどうしてもよいと思っている先生は一人もいませんが、どうしたらよいか苦しんでいる先生は多いのではないかと思います。校内でも研修していきたいです。

○保護者への働きかけが必要なケースが多いと思います。SSWやスクールカウンセラーを保護者につなげる際にも言葉を選んでいますが、とても難しいです。現在、ユニバーサルデザインについてはクラス単位で行っているという学校が多かったので、学校全体への広げ方が今後の課題であると思っています。

○グループ協議を行うと、タイムタイマーを全教室に置いている学校もありました。校内を振り返るとユニバーサルデザインについて掲示部より提案がされても、反対意見により定着しませんでした。10年経験者教員として、私たちは何ができるか考えさせられる時間となりました。

○子どもの困り感に寄り添うことが大切だと感じました。今までの自分の実践を批判的に振り返る機会をなりました。

